**小学生(低)礼拝6月②**

**聖書：兄弟を思いやる心（カインとアベル）**

きょうは聖書に書いてある、「カインとアベル」のお話をします。前のお話では、アダムとエバが神様との約束をやぶり、エデンの園から追い出されたところまでを聞きましたね。

アダムとエバは神様との約束を破ってしまったので、二人はエデンの園を追い出されました。約束を破ったアダムとエバの心には悪い心が入り、善悪二つの心を持つようになりました。神様は善い心には住むことができますが、悪い心には住めません。

神様は、アダムとエバの心には住めなくなってしまいました。神様は大変悲しまれました。

しかし、神様は諦めませんでした。必ず人間をもう一度、取り戻し、神の国をつくろうと、こころに決めたのです。

神様は、今度はアダムとエバの子供であるカインとアベルが仲良くすることを願われました。カインがお兄さん、アベルが弟です。

カインは畑で野菜を作り、アベルは羊を育てていました。ある日、神様はカインとアベルに供物をしなさいと言われました。供え物とは、神様に自分が大切にしているものを捧げる、ことを言います。

お兄さんのカインは野菜作りが得意でした。だからカインは野菜を心を込めて神様にお捧げました。弟のアベルは、たくさん羊を飼っていました。そのなかで、一番元気な羊を、心を込めて神様におささげしました。

二人とも心を込めて、神様の前に捧げたのですが、神様はカインの野菜は取らずに、アベルの羊だけを取られたのです。

供え物を取ってもらったアベルは、「神様はカインの供え物ではなく、ぼくの供え物を取ってくださった！」と、喜びました。それを見たカインは「アベルだけずるい！　ぼくも一生懸命心を込めて捧げたのに！」と、怒りました。

カインは、怒りの気持ちで心が一杯になりました。そして、カインはアベルを、石でなぐって殺してしまったのです。それを見ていた神様はどんな気持ちだったでしょうか。

とっても、とっても悲しまれました。カインとアベルが、兄弟げんかをして、カインがアベルを殺してしまうことで、神の国を創ることが出来なくなってしまいました。

では、カインとアベルはどうすればよかったのでしょうか？

実は、カインとアベルのような出来事が、私たちの周りでよく起こります。

例えば、みんなに弟がいたとして、一緒にお家のお掃除をしたのに、弟だけがお母さんに褒められたらどうでしょうか。みんなは、なんかさみしくなるよね。僕も頑張ったのに！って。

そして、それが反対になることもあります。自分だけがお母さんから褒められて、一生懸命が頑張った弟が褒められないときもあります。そんなとき、弟はどう思うだろう。やっぱり寂しくなるよね。

それでは、そのような時はどうしたらいいのでしょうか？その時は、さみしい思いをしている弟に「大丈夫だよ。○○もがんばったもんね。お母さんは気づかなかっただけだよ。僕からもお母さんに行っておくね」って優しい言葉をかけてあげだらどうでしょうか？弟はとっても喜びますよね。

もし、自分以外の人が褒められていて、とっても寂しいときはどうしたらいいのでしょうか？そういう時は神様に、お祈りをしましょう。そして、お父さんとかお母さんに正直に相談したらいいですよ。きっと心が軽くなります。

アベルとカインも、そのようにすればよかったのです。神様から愛された弟のアベルは、カインに対して「お兄ちゃん大丈夫だよ。僕が天の父母様にお祈りをしてあげるから」といって、優しい言葉をかけてあげれば良かったのです。そして悲しんでいるカインの手をとって、一緒に神様にお祈りをしてあげたらよかったのです。

そしてカインも、悲しくなった時に、すぐに神様にお祈りをしていればよかったのです。

そうすれば、神様はカインに対して、アベルと同じように愛をしめすことができたのです。

みんなも、もし、兄弟や友達と喧嘩をしそうになったら、今日のお話しを思い出して仲良くしましょう。

神様は、兄弟姉妹や、友達同士が仲良くしている姿を見るのが大好きだからです。

以上でおわります。